

スポーツイベント(自主事業等を含む)開催・実施」時の 感染防止策チェックリスト (主催者向け) ガイドライン ver.4 用

※「スポーツイベント(自主事業等を含む)」は、以下「イベント」と表記。

記載日：令和 年 月 日

主催者(事業主体)	
事業名(イベント名)	
事業日(イベント日)	令和 年 月 日() ~ 令和 年 月 日()

◆イベントの参加募集時の対応

1) 参加者への確認事項(募集要項や申込書等への記載をし、同意を得る形をとる)

参加者が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求めること。

- 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

2) 参加者への依頼事項(募集要項や申込書への記載をし、周知する)

- マスクを持参すること(参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること)。*1
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- 参加者間、主催者スタッフ等との距離(できるだけ2mを目安に(最低1m))を確保すること(障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)。
- イベント中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に速やかに報告させること。その際、主催者は濃厚接触者の有無等を把握すること。

◆当日の参加受付時の対応

- 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること。
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は参加しないように呼び掛けること(状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限することも考えられる)。
- 参加者が距離を置いて並べるように目印の設置等を行うこと。
- 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること。
- 当日の受付を簡素化できるような配慮を行い、混雑を極力避けること。
- 参加者から以下の事項を記載した書面の提出を求めること。*2

- 氏名、年齢、住所、連絡先(電話番号)※個人情報の取扱いに十分注意する
- 利用当日の体温
- 利用前2週間における以下の事項の有無
 - 平熱を超える発熱
 - 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状
 - だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)
 - 嗅覚や味覚の異常
 - 体が重く感じる、疲れやすい等
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある

※ 個人情報の把握に努め、保存期間(少なくとも1か月以上)を定めて保存しておくこと。

◆イベント参加者への対応(当日、受付時などに参加者に対して確認を行う)

□ マスク等の準備

- 参加者がマスクを準備しているか確認すること。
- 運動・スポーツ中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとするものの、参加の受付、着替え、表彰式等の運動・スポーツを行っていない間、特に会話をする時には、基本的にマスクの着用を求めること。^{※1}

□ イベント参加前後の留意事項

- イベントの前後のミーティング等においても、三つの密を避けること。
- 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること。

◆主催者が準備・配慮すべき事項

□ 身体的距離(社会的距離)の確保

- 待機場所や休憩場所では、少数グループ(家族等)ごとにできるだけ2m(最低1m)空けるよう、参加者同士の身体的距離(社会的距離)の確保に努める。
- 主催者はできるだけ2m(最低1m以上)空けて接客及び業務を行う。ただし、安全上・指導上等、接近する必要がある場合は、マスクまたはフェイスシールドの着用に加え、できる限り距離を空けて発声するなど、留意して業務を行う。

□ スポーツ用具の管理

- 共用するスポーツ用具については、使用前後に消毒すること。
- スポーツ用具の貸出を行う場合は、貸出を行った利用者を特定できる工夫をすること。

□ 飲食物の提供時

- 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること。
- 飲食物を取り扱うスタッフにはマスクを着用させること。

□ 観客の管理

- 観客も参加させる場合には、観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応をとること。
- 大声での声援を送らないことや、会場内では基本的にマスクを着用すること等の留意事項を周知すること。

□ イベント会場

- イベントを室内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと。
- 換気設備を適切に運転すること。
- 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと。

□ ゴミの廃棄

- 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること。
- マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること。

□ 接触確認アプリ等の利用促進

- 厚生労働省の「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)」及び岩手県の「新型コロナ対策パーソナルサポート(もしサポ岩手)」の周知を図り、利用を促すこと。

◆参加者が運動・スポーツを行う際の留意点

□ 十分な距離の確保

- 運動・スポーツの種類に関わらず、運動・スポーツをしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離^{※3}を空けること(介助者や誘導者の必要な場合を除く)。
- 強度が高い運動・スポーツの場合は、呼吸が激しくなるため、より一層距離を空けること

□ 位置取り: 走る・歩くイベントにおいては、前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置取ること。

□ タオルの共用はしないこと。

- ※1 夏期の気温・湿度が高い時期において、屋外で人と十分な距離(2m以上)が確保できる場合は、マスクを外すことも可能とする。
- ※2 フェスティバル等、人数管理が困難な事業(参加者の特定が困難な事業)については、例えば、発熱や感冒症状がある者の参加自粛、三密回避、手指消毒、マスクの着用等、適切な感染防止策を講じることを呼びかけること。
- ※3 人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空ける。

◆その他、具体的な対策があれば記載